

ウクライナ支援に関する申し入れ

ロシアによるウクライナ侵攻によって、多くのウクライナ国民が被害を受け、今なお生命を脅かされている状況に対し、広島市民は、戦災の惨状に心を痛めると同時に、軍事侵攻に際してプーチン大統領が核兵器の使用を示唆する発言を行ったことについて、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を願うヒロシマの心を踏みにじるものとして強い憤りを覚えている。

また、ウクライナは、旧ソ連時代にチェルノブイリ原発事故の被害に遭ったことから、放射線被曝者医療国際協力推進協議会（H I C A R E）において被曝者の治療等に当たる医療従事者に対する技術指導等を目的としたウクライナからの医師等の受入れやウクライナへの専門家の派遣を行っているほか、ウクライナ最高会議の議員団が、原爆の被害に遭い、その後復興と繁栄を遂げた広島市の状況を視察に訪れている。

さらに、ウクライナは、原発事故を経て、旧ソ連からの独立後、非核化を成し遂げており、過去にウクライナ大統領や最高会議議長が広島市を訪問された際には、平和記念資料館を見学され、核兵器廃絶に向けた強い決意を示されている。

このように、共に核による被害を受けた者として核兵器廃絶への強い思いを共有するウクライナと広島市との関係を踏まえ、平和都市広島が核兵器の脅威にもさらされているウクライナに寄り添い、平和を願う気持ちを改めて強く発信するとともに、市民の代表である議会と広島市が共同で支援を行うことを検討するよう申し入れる。

令和4年5月11日

広島市議会

広島市長 松井 一實 様

支援の内容

ウクライナやウクライナからの避難民を受け入れている周辺国等において人道支援を行っている団体に対する支援（支援金の支出）を行うこと。

あわせて、ウクライナからの避難民を本市に積極的に受け入れること。また、受け入れた避難民については、身寄りの有無にかかわらず、必要とされる支援が速やかに提供されるよう、早急に関係機関・団体と連携して取り組むこと。